

製品名: E1B AP5 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02828**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 96 kDa; Observed MW: 118 kDa

抗原情報

遺伝子名	HNRNPUL1
別名	E1BAP5; E1B-AP5; HNRPUL1
遺伝子 ID	11100
SwissProt ID	Q9BUJ2
免疫原	ヒト E1B-AP5 の合成ペプチド

背景

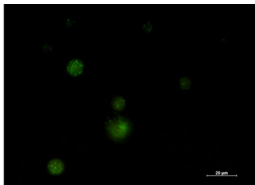
基本的な転写調節因子として作用する。複数のウイルスおよび細胞プロモーターによって駆動される基本的な転写を抑制する。BRD7

と結合すると、リガンド刺激がない場合でもグルココルチコイド応答性プロモーターの転写を活性化する。mRNAのプロセッシングおよび輸送にも関与する。in vitroにおいて、ポリ(G)およびポリ(C)RNAホモポリマーに強く結合する。

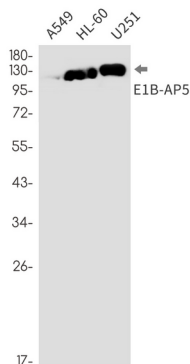
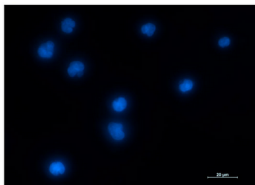
研究分野

微生物学

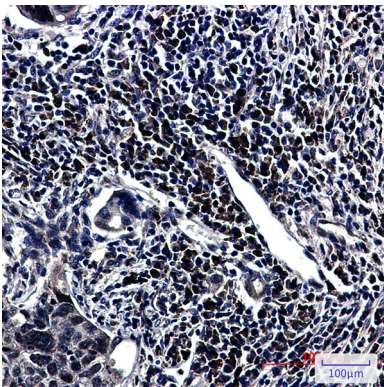
画像データ



E1B AP5 抗体および DAPI (青) を使用した、Jurkat における E1B AP5 (緑) の免疫細胞化学分析。



E1BAP5 抗体を使用した A549、HL-60、U251 溶解物中の E1BAP5 のウエスタン ブロット分析。



E1BAP5 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。